

注文票

★中国報告文学大賞（ノンフィクション大賞）受賞作品ついに日本上陸★

注文FAX 048-432-7335			
氏名:	住所:	電話:	Fax:
	〒		
A5判並製 420頁 注文数 部			
定価: 本体 3200円+税			
2005年8月15日発行予定			
<p>日本僑報社刊行した主な書籍 中国人特派員が書いた日本 永遠の隣人—人民日報に見る日本人 日中相互理解とメディアの役割 あのころの日本と中国 (王泰平、陳淑萍、謝淑清) 従昭和到平成—駐日十五年報道文集 東瀛八年—中国科技記者日本見聞 大陸逍遙—俳句と隨筆で綴る体験的中国 中国のインターネットにおける対日言論分析 日中「新思考」とは何か 中日関係に対する戦略的新思考 「対日新思考」論議の批判的検討 日中ホンネで大討論! 中国人の見た日本 中国人の日本奮闘記 中国の「対日新思考」は実現できるか 胡錦濤の対日政策</p>			

尊嚴

一半世紀を歩いた「花岡事件」

旻子著 山邊悠喜子訳 「私の戦後処理を問う」 会編集 日本僑報社 | ISBN 4-86185-016-9

推薦の言葉

文 暉 (中日友好協会副会長)



この30余万字の作品が述べているのは、抗日戦争中に起きた著名な「花岡事件」が発生してから半世紀来の過程であり、事件の全容と中日民間友好往來の歴史を描写しています。新中国成立以来の中日民間友好往來の実証であり、その経過の中から真相が見え、見る人の涙を誘い、その苦難の足跡は、中日両国人民に深く考えなければならぬ課題を示しています。

「花岡事件」は歴史の公道をただす平和への使命を負って、半世紀に亘って苦しい歩みを続けてきました。本文には少なからず平和と正義の為に奮闘している人々のことが書かれています。彼らは正義の為に困難を克服し障害を乗り越えて叫び続けています。私は彼らの行動から、日本人民が歴史を正視し日本社会を変えて行く進歩的な力を担っており、平和勢力が最終的には社会の主流、基礎になるものと見ています。



■著者略歴 旻子 (ミンズ)、本名李旻。1951年生まれ。1968年軍隊に参加、軍隊で文芸工作に従事。1994年春北京に転勤、雑誌社と出版社で編集に従事。長編伝記の『林同春伝』などを出版した。2003年『尊嚴』で中国報告文学第二回正泰杯大賞受賞。

■訳者略歴 山邊悠喜子 1929年東京都生まれ。1945年12月、中国東北民主聯軍に参加(以後の「中国人民解放軍 第四野戦軍後勤部」)。1953年帰国。現在、「私の戦後処理を問う」会代表。同時に、日本軍の細菌戦、毒ガス戦を究明する「ABC企画委員会」会員。

■編集 「私の戦後処理を問う」会 花岡事件訴訟の「和解」を契機として発足。被害者に対する支援運動のあり方を各々が痛切に反省し、真の戦後補償はいかにあるべきかを模索している。

が涙を禁じえないであろう。

人物が鮮明に描きだされており、それぞれのエピソードに多くの人が

メンタリーである。豊富な史料をもとに論理的に記述されつつも、

本書は、この歴史的な事件を客観的に、最も詳細に記述したドキュ

二〇〇〇年十一月二十九日に「和解」が成立した。

が日本に対して起こした最初の賠償請求事件となった。なお本件は

二〇〇〇年十一月二十九日に「和解」が成立した。

ちが鹿島建設に対して三項目の要求をした。これは中国の一般国民



【内容紹介】 一九四五年六月三十日深夜、秋田県花岡町で千名近くの中国人労働者が非人道的な虐待に耐えかねて蜂起したが、失敗に終わってしまった。

そして一九八九年、「花岡事件」の生存者とその遺族たち